２０１６年度
特定非営利活動法人
まちづくりネット東近江事業報告書

２０１６年４月１日～２０１７年３月31日

２０１６年度特定非営利活動法人まちづくりネット東近江事業報告（案）

昨年４月、市役所から新たな場所へ移転することになった。拠点ができたことで新たな事業も展開して、まちづくりネット東近江の存在を知ってもらうために、ミニ講座や相談会も開催して、市民への呼びかけを行った。この施設へ来て、１年で延べ１１８７名の来訪者があった。新しい人ばかりではないが、この場ができたことで人と人の交流拠点となる可能性が広がったのでこのことを今後も目指したい。

＜つながる＞

・昨年の「ええよりまち協編」として開催した事業から派生した「ええより〇〇編」は、テーマごとの小さな交流会として、ゆっくり話ができる場として、お互いに困っていることを共有し、相談する場となっている。興味がある人同士でつながりたいという声を実現して、話題テーマを設定し、共通の話題で話せる仕掛けをつくることが大切になる。

・ 新たな拠点ができたことで、新しい顧客が生まれたことや滞在時間が長くなった方も、雑談のなかから新たな気づきやコラボレーションなどがうまれた。情報収集の量がふえ、団体とのつながりが深くなっていると感じる。

<ひろがる>

・週３回のブログの発信やフェイスブックとの連動発信などは引き続き行っている。三方よし基金について市民や全国各地の方々へ紹介していることもあり、まちづくりネット東近江の HP 来訪者も増えている。

・パブリックアクセスの活動は、「まちのわ」の投稿番組と防災訓練での多文化共生の発信を引き続き行った。昨年のまちのわコンテストの時に、「動画を作っている自分達もつながりたい」という意思表示があったので、「ええよりまちのわ編」として開催した。その後、すぐにはつながる形にはならなかったが、今後、動画相談会を通して他の NPO に紹介しながら動画作成をお願いし、つながりの場にできたらと考える。

・広報誌にじまちは、Ａ５版で作成することになった。東近江のいいとこ・いいこと・いいひとをテーマで特集を組んでいるが、回覧では読みきれないので手元にほしいという声があり形態を変えた。各コミュニティセンターや図書館、配架に協力いただいた事業所に置いている。せっかくの読み物なので、今後配架の場を増やすことは課題として広げていく方法を考える。

＜支えあう＞

・今年度 NPO が自立していくためのビジネスをどうしていくのかが課題としてあがった。初めての NPO のコンサルティングなど次につなげないといけない事業にも取り組んだ。まちづくりネット東近江も事業収入をどう考えるのかが課題としてあり、時を得たテーマとなった。三方よし基金や SIB 事業の取組を通して、伴走支援の大切さを学び、また三方よし基金の関係などで、全国の NPO 関係者の新たなつながりができたことは刺激と共に財産となり、今後に生かしたい。

・にじまちサポーターズは応募団体が減った。寄付をもらうのは大変と感じられ、そのことの大切さが伝わってないと考える。しかし、採択された団体は共に活動したことで次の連携も生まれ、新たな事業へも展開した。寄付額だけではないメリットを伝えて行き

たい。

・コミュニティビジネススタートアップ事業は、東近江版SIBの事業としての経過もあり、団体の支援をマネジメントするだけでなく、いかに知ってもらうかも工夫して、採択４団体のツアーを開催した。地域で事業化したいと思っている方々に声をかけた。４団体の内容も地域も改めて知ることになり、新たな事業となったことは成果である。

＜市民活動支援＞

・今年度は講座の集客に苦労した。届けたい人に届く広報とは何か、改めて考える年となった。案内が遅かったり、チラシの準備が遅れた。他の事業に追われたことが原因だが、来年度はそのあたりの集約や、どの程度まで届くのかの検証もしながら進めたい。

・助成金講座は数カ月おきに開催した。NPO だけでなく地域団体の方々も参加され、事務所ができたことで、気軽に講座の組み立てができるようになった成果と考える。

・今年初めて解散相談があった。NPO 法も設立から２０年になり、高齢化による組織の見直しが進んでいると考える。同じ人が何度もという相談も何件かあり、相談経過がわかるように、セールスフォースというデータベースを導入する準備を進めた。

・事業計画書作りを講座として企画した。そこから派生して個別団体のコンサルティング事業を初めて開催した。団体支援も１回きりでは自立の手立ては難しいので、次年度も引き続きコンサルティングを考えたい。アドバイザーに入ってもらい、コンサルティングの時に一緒に立ち合うことでスタッフとしての研修の場となった効果は大きい。

目次

＜つながる＞
１．わくわくこらぼ村・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
２．わがまち協働大賞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
３．ええよりの開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
４．ＳＯＹＯＲＩの開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

＜ひろがる＞
１．WEB 媒体を使った情報発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
２．広報誌「にじまち」の発行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
３．東近江市パブリックアクセス推進協議会の運営支援・・・・・・・ 13
４．　その他の情報発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

＜支えあう＞
１．にじまちサポーターズの実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
２．東近江市わくわく市民活動支援補助金事業の運営協力・・・・・・18
３．東近江三方良し基金との連携 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
４．コミュニティビジネス支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
５．協働ラウンドテーブルの開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

＜市民活動支援＞
１．講座の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
２．相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

＜地域循環共生圏構築検討事業＞
１．環境円卓会議の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９

＜事業実施体制＞
1．スタッフ研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３０
2．まちづくりに関わる多様な主体間の連携･ネットワークの構築・・ ３２
3．運営体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32

つながる

１．わくわくこらぼ村

開催日時：2016 年 12 月３日（土）10：00～16：00
開催場所：ショッピングプラザアピア４階（研修室ＡＢ、アピアホール、情報プラザ）
参加者数：１２００名
配布チラシ：１６０００部　東近江市の各施設、団体１２０ヶ所、個人１１４ヶ所

（１）実行委員会の開催　　７回
表：実行委員会委員名簿

役職	所属	氏名
委員長	ＮＰＯ法人　愛のまちエコ倶楽部	増田　隆
副委員長	湖東地区まちづくり協議会	福田　純子
委員	ＮＰＯ法人　森林保全活動団体　遊林会	泉　浩二
〃	滋賀県立大学	北井　香
〃	能登川博物館	杉浦　隆支
〃	東近江市社会福祉協議会	谷　和之
〃	東近江市企画課	谷　佑一郎
〃	東近江市立能登川図書館	松浦　純子
〃	地球ハートヴィレッジ	モリコーニ直美
〃	子育て支援総合センター	川嶋　佳代子
事務局	東近江市まちづくり協働課	村田　淳子
事務局	〃	村井　舞子
事務局	ＮＰＯ法人まちづくりネット東近江	遠藤　恵子
事務局	〃	森下　瑠美
事務局	〃	石黒　友紀子
事務局	〃	藤　一道

（２）参加団体説明会・交流会
日時：2016 年 11 月 11 日（金）18：30～20：30（準備：16：00～）
場所：愛東支所　大会議室
参加団体数　41　　説明会参加人数　47 名　　交流会参加人数　23 名
内容：開催概要/３０秒プレゼン・ステージ概要/展示・物販・体験概要/テーマソング合唱練習/交流会/３０秒プレゼン練習

（3）当日スケジュール

時間	内容
10:00	開村式
10:07	滋賀県立八日市高校吹奏楽部による演奏
10:35	30 秒団体紹介コーナー～「つながる地域の輪」～
11:30	展示、体験、販売、の開始

11:30	環びわ湖大学連携による成果発表会
13:00	ステージ発表
15:00	閉村式
15:30	片付け

① 展示・体験・販売

参加団体：47 団体

それぞれの活動を紹介できるブースを設置し、体験や物品の販売を行う。

②環びわ湖大学連携による成果発表会

大学生と地域の人と共に取り組んだプロジェクトのプレゼンやポスターセッションをこらぼ村参加者に PR、評価してもらい、閉村式にて表彰を実施した。

③ステージ

活動を紹介するステージに 5 団体が参加。わくわくこらぼ村のステージで各 15 分程度の紹介を行った。

④閉村式

わくわくこらぼ村で賞の発表を行う。

30 秒団体紹介コーナー

ステージ

ジオラマ作成

⑤企画

①こらぼっくるを探せ

②みんなで作ろうこらぼ村（ジオラマ作成）

③環びわ湖大学地域交流フェスタ 2016 とのコラボ

大学生と地域の人と共に取り組んだプロジェクトのプレゼンやポスターセッションをこらぼ村参加者に PR、評価してもらい、閉村式にて表彰を実施した。

（4）わくわくこらぼ村サテライト

わくわくこらぼ村を開催したときの写真や当日に設置したキャラクター展示を行った。

日時：2017 年 2 月 13 日（月）～2017 年 2 月 24 日（金）

場所：東近江市役所 1Ｆロビー

（5）反省会での各委員からの意見

・中高生に来てもらえるような企画を考える事が大切では。
・中高生の人とつながっている人を実行委員に入ってもらうのも良い。
・広報する時間や準備する期間にもう少し余裕が欲しい、実行委員会はもう少し早めに１回目の開催をしても良い。
・交流会は開催後に実施しても良いかも。
・ジオラマ企画は、後日開催のサテライトでも活用できるので良い企画
・会場の割り振り、物販・体験・展示と分けたのは参加者に分かりやすかった。
・情報プラザの会場が他の会場と少し離れている感じがあった。
・ホールのステージの様子を研修室でネット中継を試み、一体感が出来てよかった。画質・音声は改善の余地がある。
・「こらぼっくるを探せ」の景品にはもう少し工夫が必要

２．わがまち協働大賞

市民同士または市民と行政の協働の促進をするとともに協働の事例を表彰することにより、協働への意識を高める。また協働の事例の収集を目的に、わがまち協働大賞の募集を行う。

募集期間：2016年6月1日（水）～2016年7月29日（金）

（1）チラシ・ポスターの制作

チラシを 1.000 部、ポスターを 100 部作成し、各地区コミュニティセンター、支所、図書館などに設置。また、当団体主催の講座やイベント、市主催のイベント時に配布した。

能登川博物館で、昨年度の協働大賞の事例を発表して PR の機会とした。

（2）選考日程

選考	選考日（選考期間）	選考者	選考方法
第１次選考	2016 年８月 25 日	市協働推進委員	書類選考
市民投票	2016 年９月 30 日 10 月～13 日	市民	ビデオやパネル展示を見て投票
最終選考	2016 年 11 月 26 日	市協働推進委員	市民投票の結果 ヒアリングの結果

（3）ヒアリング

市協働推進委員が、最終選考に残った９事業に現地ヒアリングを行った。

（4）市民投票

最終選考に残った９事業を対象に、2016 年９月 30 日（金）～10 月 13 日（木）まで、以下の場所にて市民投票を行った。

場　所	市民投票方法
各地区図書館	・９事業の概要説明ポスター展示
ショッピングプラザアピア	・９事業の概要説明ポスター展示及び、事業説明動画
東近江市役所	〃
WEB（インターネット投票）	・９事業の概要説明動画

（５）最終選考

市協働推進委員が参加したヒアリングによる採点（60 点満点）結果と市民投票の結果、事前に提出されていたヒアリングシートにより、特徴のある事例を選んだ。

賞名	事業名	団体名
大賞	赤い糸プロジェクト VOL.20 がちゃ婚	蒲生地区まちづくり協議会
優秀賞	中山道灯り路	五個荘地区まちづくり協議会
優秀賞 市民応援賞	くりみフェスタ	能登川北小学校地域教育協議会
特別賞	未来を創る子どもの感性育成プロジェクト	地球ハートヴィレッジ
特別賞	であいタイランド 2016	であいタイランド実行委員会
特別賞	昔ばなしも新鮮な、居ながら交流会「よ～きて茶屋」事業	NPO 法人愛のまちエコ倶楽部
入賞	東近江市空家バンク事業（空店舗バンクも含む）及び総合相談事業	一般社団法人　東近江住まいるバンク
入賞	能登川病院をよくする会	能登川病院をよくする会
入賞	暮らしの困りごとをサポートする「ほんなら堂」	あいとうふくしモール運営委員会
協働コーディネーター賞	・森田　初枝さん（蒲生地区まちづくり協議会） ・菊川　弘さん　（能登川病院をよくする会）	

（６）表彰式

日時：2016 年 12 月３日（土）14：10～14：35（わくわくこらぼ村内）

場所：ショッピングプラザアピア　アピアホールステージ

副賞：受賞された事例をまち全体で応援することを趣旨として、東近江市内の事業所に協力を依頼し、店舗や事業所で使うことができるクーポン券を発行した。クーポンの利用により、店舗に訪れるきっかけや新しい協働の事例を増やすことも目的である。

（７）わがまち協働大賞事例集の作成

Ａ４版 24 ページで、表彰された団体を中心に事業の紹介を行う。

３．ええよりの開催

多様な分野で活動している市民が、一つのテーマで集い、お互いの情報交換や取組の見学、悩みを共有する場として「ええより」と題した交流会を４回企画した。

（１）ええより「まちのわ」

内容：動画撮影に関心のある方を対象に、自身の活動や動画を使ってやってみたいことなどを情報交換する。東近江市パブリックアクセス推進協議会のメンバーとも交流することで今後のまちのわの運営について考えるきっかけとする。

日時：2016 年６月 15 日（水）　14：30～16：00

場所：まちづくりネット東近江事務所

参加者：10 名

＜参加者の声（一部）＞

・今後もこのような機会があると嬉しい。少し勉強できた。

・各人の目的や思惑がちがうので違和感があったが、そういう人に会えたのも良かった。「まちのわ」の枠からちょっとはみ出している感じを受けた。

（２）ええより「まちづくり女子」

内容：まちづくりに興味のある人を対象に、コミュニティビジネスを東近江市で始めようとしている４団体を見学する。見学先の団体にとっては、新しいファンを増やし自分達の取組を知ってもらうよい機会とし、今後の事業展開を考えていく中で、助言を頂く場とする。また、地域でお金を循環する仕組みである、「ＳＩＢ（ソーシャルインパクトボンド）」を知ってもらう機会とする。

日時：2016 年９月 28 日（水）　９：20～16：30

参加費：2,000 円（昼食代、お茶代、団体応援金など込）

参加者数：17 名

スケジュール

９：20 集合	大凧会館駐車場集
10：10～	クミノ工房の事業見学
11：35～	野菜花（あいとうふくしモール）で昼食
12：40～	ほんなら堂の事業見学
13：30～	ＮＰＯ法人愛のまちエコ倶楽部の事業見学
14：50～	がもう夢工房協議会の事業見学及びティータイム
15：50～	帰路　（アンケート記入）
16：20～	大凧会館駐車場着

（３）ええより「NPO 女子」

内容：NPO や市民活動団体で事務局スタッフとして働く女性を対象に、それぞれの活動や仕事をする中で思うこと、働く女性として考えていることなどを話し合い、交流する。

日時：2016 年 12.月 22 日　15：00～17：00

場所：まちづくりネット東近江事務所　参加費：５００円

参加者：８名（内まちづくりネット事務局３名）

（４）ええより「コミュニティビジネスを知ろう」

内容：東近江市コミュニティビジネススタートアップ事業に採択されている４団体の中間事業発表会に参加し、それぞれの取組を知る。その後の意見交換会で、発表会を聞いての意見や感想、東近江市版 SIB の取組について意見交換する。

日時：2017 年２月１日（水）13：30～17：00

場所：五箇荘コミュニティセンター

参加者数：６名

●交流会で出された感想や意見（一部）

・それぞれのコミュニティビジネスについて、取り組みを知ることができて良かった。

・取り組んでいる人の顔が見えるので、「助けたい」「応援したい」という気持ちになる。

・チームや団体で取り組んでいるところはメンバーの想いをまとめるのが難しそうだと感じたし、ひとりで抱え込んでいる事業者には、困っていることや悩みを気軽に相談できる人が必要だと思う。

・事業者にとっては、仕組みのなかで応援者が増える、応援者と顔の見える関係が続けられることがメリット。応援者にとっては、資金支援という関わりで応援でき、一緒に地域を創っていくことにつながる。

４．ＳＯＹＯＲＩの開催

さまざまなネットワークを持つ市内外の市民活動などに従事している方々や行政職員など一同に集めて行う第 13 回・第 14 回のＳＯＹＯＲＩ（創寄り）を開催した。

（１）第 13 回 SOYORI

日時：２０１６年６月 21 日（火）　18：30～21：30

場所：浜野会館

参加人数：91 人

実施内容：東近江市から始まる新しい資金循環の取組についての意見交換、交流会

（２）第 14 回 SOYORI

日時：２０１７年３月 17 日（金）　18：30～21：30

場所：本町公会堂（能登川地区）

参加人数：85 人

実施内容：若者のまちづくりへの参画について意見交換、交流会

ひろがる

１．WEB 媒体を使った情報発信

（１）「東おうMe！！」

東近江市で活動する団体や事業所など、多様な主体間の連携を支援するために作られたポータルサイトである。地域のイベント情報や行政情報、助成金についての情報の掲載、フェイスブックやツイッターとも連携した情報発信を行った。

東近江市地域情報ポータルサイト「東おうＭｅ！！」の以下の通りである。

・2015 年度年間トータルアクセス：44049　月間平均アクセス数：3670.75

・2016 年度年間トータルアクセス：69789　月間平均アクセス数：58,058

（2017 年３月 29 日現在）

（２）活動団体のＨＰ・チラシ等の情報公開・発信の支援

団体から依頼のチラシ作成と活動団体の情報発信を行う。チラシ作成と団体の情報発信の一覧は以下の通り。

・チラシ作成　７件

・各ＨＰや facebook などで紹介した件数

掲載場所	件数
まちづくりネット東近江のＨＰ	65 件
まちづくりネット東近江の facebook	33 件
東おうＭｅ！！のＨＰ	37 件

２．広報誌「にじまち」の発行

６月、９月、12 月、３月の年４回広報誌「にじまち」を発行した。この広報誌は、自分の住むまちに若い人が興味をもってもらうこと、東近江市で行われている市民活動を知ってもらうことを目的に、「いいこと、いいひと、いいところ」をコンセプトに発行している。今年度から、Ａ５版の 16 ページとした。

（１）広報誌にじまちの内容について

以下のカテゴリに分け、取材を行い作成する。主に東近江市の市民活動やまちづくりを知ってもらえる内容を、テーマに応じて掲載する。

カテゴリ	中身
特集	その月のテーマに合わせて特集の内容を考える
ちょこっとバス	ちょこっとバスに乗り、東近江市の隠れた名所を紹介
まちのわ	まちのわの情報
コラボ	東近江市市民協働推進委員会のニュースレター
東近江人	東近江市の魅力ある人の紹介
マチコト	コミュニティビジネスの事例紹介
彩	東近江市の団体の紹介
地域のかわら版	市民活動団体からのお知らせ
お知らせ	まちづくりネット東近江からのお知らせ

表：にじまち各号の内容について

発行号	特集	東近江人	彩	マチコト
６月号（VOｌ.13）	「地域でその人らしく生き、最後を迎えるためには」三方よし研究会」	「女性が幸せに生きる人生を応援」朝比奈順子さん	「光に込めた熱き想い」コトナリエ２０１６実行委員会	「野菜づくりにかける独自のこだわり」ゆたかマン農園
９月号（VOｌ.14）	「防災訓練を通じて地域のつながりへ」五個荘地区まちづくり協議会	「一本の紐から『美』を伝える」田中年子さん	「アマチェア無線を通じて知る喜びを子ども達へ」無線倶楽部	「生みだす喜びを感じながら」HONMACHI193
12月号（VOｌ.15）	「地域の恵を生かして」東近江のお酒	「野菜作りは気持ちイイ」片山恵美さん	「地域の『ほっとする場』を目指して」コミカフェGoo	「永源寺米米粉１００％クレープ&ガレット」Crepier Cono
３月号（VOｌ.16）	「音楽で繋げ、届ける～人との出会いと地域への想い～」わ音	「地域で広げたい、音楽との出会いの場」岡山理絵さん	「明るく前向きになるフラダンスで元気に」ハウオリフラダンスマハロ	「ゆらゆらゆりかごチェアのリラックスカフェ」クレイドル

３．東近江市パブリックアクセス推進協議会の運営支援

パブリックアクセスとは、一般市民が一定のルールによって自主的に放送番組を企画・制作することを指し、広くは放送に限らず「言論・表現の公共圏（パブリックフォーム）」にアクセスする行為や制度をいう。

市民自身が情報を制作し発信するという「当事者視点」を持ち、議論を徹底して物事を進めることで「合意形成の過程を共有」することや、東京中心の放送から脱却し、「各地域が情報発信の源」となることにより、自発的に情報発信する市民が増えることをめざす。

（１）東近江ケーブルネットワーク株式会社との番組制作

東近江スマイルネットにて、毎月１回、日曜日～土曜日まで市民投稿枠の中で 15 分の番組「まちのわ」を制作した。【投稿：１２件】

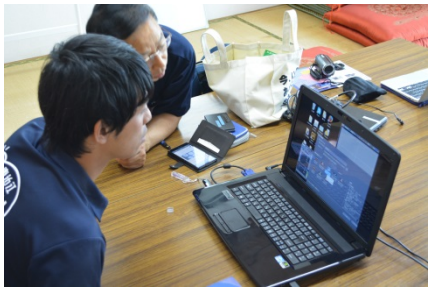
（２）ミニ動画相談会の開催

目的：市民参加の情報発信の仕組み、意義を広げる。情報発信を行える市民を育成する。「まちのわ」への投稿への参加を促す。

内容：動画撮影や動画編集に興味がある方、上手な撮影・編集方法を知りたい方が撮影方法や編集方法、質問をする相談会。少人数で開催するので、個別の相談にも応じる。相談時間は１回５０分程度。

開催日時及び参加者

2016 年7月２１日（木）　13：30～　参加者　３名
2016 年8月２６日（金）　13：30～　参加者　１名
2016 年1月 16 日（月）　13：30～　参加者　１名



＜参加者の声＞

●ビデオカメラを持っているが使い方がわからず眠ったままになっていたので教えてもらえてよかった。

●動画編集の仕方を個別に教えてもらえるので、現在制作中の動画にアドバイスがもらえてよかった。

（３）災害時の情報発信

日時：2016 年８月 28 日(日)
場所：五個荘中学校グラウンド
参加者：12 名(パブリックアクセス推進協議会８名　国際交流協会５名)
「災害時多言語支援訓練」
・災害情報の選別と多言語翻訳訓練

災害情報を取捨選択し、やさしい日本語や多言語に翻訳して CATV・FM・SNS を

活用して情報提供を行う。

・災害ボランティアセンター情報伝達訓練

災害ボランティアセンターに届けられたニーズの把握及び相談への対応等をシュミレーションし、やさしい日本語及び多言語に翻訳し、CATV・FM・SNS を活用し情報提供を行う。

・翻訳アプリの検証

スマートフォンでダウンロードできる無料の翻訳アプリを使い、外国人とのコミュニケーションについて検証した。

検証結果：日本語も外国語も正しく翻訳されにくく、本来伝えたい内容と違った内容が翻訳されるケースが頻発した。アプリで認識されやすい言葉の検証など、今後も検証が必要だと感じた。

（5）まちのわコンテストの開催

市民投稿番組「まちのわ」に投稿頂いた作品を表彰することによって、今後の投稿を促すためにコンテストを開催した。また、同時に情報発信をテーマにした講演会を開催することで、市民や市民活動団体が主体的に情報発信することの大切さについて考える機会とした。

日時：2017 年３月 23 日（木）　１８：３０～２１：００　（地域創生講座と共催）

場所：東近江市役所新館３階 314 会議室

参加者：65 名

当日の内容

まちのわコンテスト表彰式受賞作品

賞	団体名	作品
最優秀賞	医療懇話会	命のバトン
優秀賞	NPO こもれ日小田苅家	こもれ日小田苅家一周年記念音楽祭
優秀賞	市辺地区まちづくり協議会	市辺コミセン　子ども夏まつり

講演会「知りたい人に届く地域の情報発信のコツ～インターネットの最新事情と情報発信の秘訣～」

講師：山田　泰久　さん　（NPO 法人　CANPAN センター代表理事）

＜参加者の声＞

●ブログなどで参加者の顔を積極的に出してもよいと聞き、顔を出していいんだと確信がもて有意義な時間だった。これから許可を得られたら積極的に掲載し活動の様子を伝えたいと思う。

●団体ブログについて、利用を検討することが必要だと思う。いろいろ今の活動に照らして不足を補いたいと思う。
●自分の見ている感じでHPをつくる。20代はスマホ、60代は新聞など情報先を考える。
●継続が大切だと分かった。
●様々なSNSを法人として利用しているが、今後広報していくヒントになった。
●実際のエピソードの話があるとよかった。

4.　その他の情報発信

（1）掲示板への情報発信

市民活動や、地域活動に関する情報を取材し、ポータルサイトや広報誌、まちづくりネット東近江のホームページ、facebookで発信した。

また、市役所1階ロビーの壁面と事務所玄関に市民活動情報掲示板を設置し、チラシやパンフレットの掲示を行った。

まちづくりネット東近江のＨＰ

市役所１Ｆ掲示の様子

（2）そこら編集委員会への参加

東近江市に住んでいる人や場所、祭事や活動など「東近江市の今」を若い世代に知ってもらうことを目的とした冊子づくりを行った。

日時：２０１６年１０月６日（木）
場所：八日市図書館
内容：今号のテーマは、「東近江市のエコツーリズム」
２５００部発行　　各市内図書館･コミュニティセンター等へ配布

画像：そこらの表紙及び紙面

（３）つれづれ日記の発行

まちづくりネット東近江の活動をしってもらうために１ヶ月に１度、事業の報告及び、翌月の予定などを掲載し、運営委員、会員向けに配布した。

また、市民向けに市役所１階掲示板に掲示・設置した。

支え合う

１．にじまちサポーターズの実施

（１）スケジュール

以下のとおりのスケジュールで運営を行った。

日付	事業内容
４月１日～４月28日	にじまちサポーターズ参加団体募集期間
４月20日、25日	にじまちサポーターズ説明会
５月15日（日）	にじまちサポーターズ応募団体ヒアリング、選考委員会
６月６日（月）	にじまちサポーターズ第１回作戦会議
７月１日（金）	にじまちサポーターズ寄付集め期間開始　（１２月31日まで）
７月２４日（日）	であいタイランド2016に参加
９月15日（木）	にじまちサポーターズ第２回作戦会議
10月８日（土）	奥永源寺道の駅１周年記念イベントに参加
11月３日（木・祝）	二五八祭り参加
12月19日（月）	にじまちサポーターズ第３回作戦会議　（団体個別）

（2）にじまちサポーターズ説明会

日時：2016年４月20日（水）　18：30～19：30

2016年４月25日（月）　14：00～15：00

場所：東近江市役所新館２階212会議室

（3）にじまちサポーターズ応募団体ヒアリング、選考委員会

日時：2016年５月15日（月）13：00～15：00

場所：五個荘コミュニティセンター研修室４

内容：選考委員会が応募団体にヒアリングを行った。アリング後、選考委員の評価をもとに採択団体を決定した。

採択団体・能登川駅前賑わい創出実行委員会

・木地師のふるさと高松会

選考委員：委員長　谷口　浩志（びわこ学院大学）

委員　　菊井　千恵子（ファイナンシャルプランナー）

委員　　西川　実佐子（認定ＮＰＯ法人しがＮＰＯセンター）

委員　　野村　正次　（ＮＰＯ法人まちづくりネット東近江）

選考方法：各団体の申請書を確認し、以下の項目ごとに点数をつける。

（4）にじまちサポーターズ作戦会議

概要：寄付集めを進めていくにあたり、にじまちサポーターズ参加団体と事務局で寄付集めの方法や今後のスケジュールなどについて意見交換を行った。

日時：２０１６年　６月　６日　　第１回作戦会議
　　２０１６年　９月１５日　　第２回作戦会議
　　２０１６年１２月１９日　　第３回作戦会議（各団体別）

（5）にじまちサポーターズ普及活動

概要：にじまちサポーターズを知って頂くために、パンフレット作成やプレスリリースを実施した。

実施内容：４月１９日　にじまちサポーターズ採択団体募集記事掲載（報知新聞）
　　６月２０日　ケーブルテレビにて採択団体の紹介
　　７月下旬　にじまちサポーターズパンフレット配布（市内コミセン、県内中間支援施設など）
　　８月上旬　ドネーションパーティーＰＲ
　　８月２０日　採択団体紹介と寄付集めのお知らせ記事掲載（報知新聞）

パンフレット

4/19 付報知新聞記事

（6）イベント参加や寄付商品販売協力での寄付集め

東近江市内で行われたイベントに参加し、にじまちサポーターズの寄付集めを行った。

実施内容：７月 24 日　であいタイランド 2016 にて、寄付付商品の販売。
　　10 月８日　奥永源寺道の駅１周年記念イベントにてラジオ出演
　　11 月３日　二五八祭りにて、寄付付商品の販売

※年間を通じて Mitte と協力し、Mitte で販売するコーヒーチケットの売り上げの一部を寄付として協力いただいた。

（7）寄付金額

集まった寄付金額の合計と各参加団体の寄付金額については以下のとおりである。

寄付金総額：630,345 円

各団体寄付金額明細

団体名	目標金額	寄付金額
能登川駅前賑わい創出実行委員会	400,000 円	185,276 円
木地師のふるさと高松会	500,000 円	445,069 円

（8）にじまちサポーターズ検討委員会

2016 年度の事業の反省、2017 年度の計画や募集要項などの検討を行う。

日程	検討内容
2017 年２月７日（火）	2016 年度にじまちサポーターズ採択団体中間発表 2016 年度採択団体活動評価と寄付配分決定
2017 年２月 23 日（木）	2017 年度事業指定寄付制度にじまちサポーターズ実施計画書・募集要項の検討

２．東近江市わくわく市民活動支援補助金事業の運営協力

（１）東近江市わくわく市民活動支援補助金の申請補助

1）こもれ日小田苅家

こもれ日小田苅家は古民家を活用して、地域のサロンやさまざまなイベントを行い、地域に開放しているスペースである。２０１５年度のわくわく市民活動補助金に採択されているので報告書の書き方等について相談があった。書類の書き方や決算報告の方法を伝える。会計は一緒に作業をしてまとめた。また、２０１６年度の申請についても相談にのり、その後のプレゼンテーションの方法についても相談に応じる。

支援：報告書の作成方法

申請書の書き方

プレゼンテーションのパワーポインとの作り方

2）合鴨会

公園で子ども向けの収穫祭などをするのに草刈や木々の剪定などをして整備していた。これまで他の助成金からもらっていたが、なくなったので探しているという相談だったのでわくわく補助金を紹介し申請書の書き方について相談に応じる。

支援：申請書の書き方

（2）各種助成金・補助金の情報提供の支援

各種助成金情報提供件数２６件

（3）東近江市わくわく市民活動支援補助金審査会・発表会の運営協力

東近江市わくわく市民活動支援補助金は、市民が主役のまちづくりを推進するため、市民活動団体が自ら企画して実施する活動に対して、東近江市がその経費の一部を助成する補助金制度である。団体のプレゼンテーションの運営に関する事業を市と連携して行った。

１）当日までの協力と当日の運営協力

・チラシの作成

・広報宣伝

・申請書の書き方支援

２）その後の支援

①オリエンテーションに参加し、この事業に参加する団体の支援を行う。

日時：2016 年７月 25 日（月）

内容：1、東近江市わくわく市民活動支援補助金概要

2、スケジュールについて

3、必要な手続きや提出書類

4、会計について

②各団体の事業を見学し、facebook での広報を行う

３．東近江三方良し基金との連携

社会情勢が大きく変化する中、地域課題は多様化し、これまで以上に行政と市民、市民と市民が協働して課題を解決することが必要となっている。そこで「志のあるお金」を地域資源を活かし、課題解決をめざす多様な主体やその取組などの、社会的に意義のある活動に生かすために「東近江三方よし基金」が設立された。

地域でお金の流れをつくりだし、市民自らが課題を解決する仕組みを構築することで市民活動が大きく展開することを期待し、連携・協力した。

（１）東近江三方よし基金設立準備会

総会が５月２５日に開催され、準備活動が始まった。

設立準備会	６回開催
A チーム（組織・情報発信・普及啓発研究会）	２回開催
B チーム（事業・東近江版 SIB 研究会）	２回開催

（２）遺贈寄付セミナー

日時：２０１６年１２月１２日

場所：東近江市役所３１４会議室

参加者：３０名

講師：鵜尾雅隆さん（日本ファンドレイジン協会代表）

（３）これからの三方よしを考える集い

日時：２０１７年2月１５日

場所：野菜花

参加者：寄付集めをしていただいている方々

（４）東近江三方よし基金設立オーナーの集い

日時：２０１７年2月２７日

場所：能登川コミュニティセンター大ホール

基調講演：内藤正明さん（滋賀県環境科学研究センター所長）

（５）事務局としての作業

会議開催案内発送、会議議事録作成、パンフレット作成、寄付者名簿作成　　等

４．コミュニティビジネス支援

（１）コミュニティビジネス相談会の概要

目的：・地域のためのビジネスを支援すること。

・地域の活動を更に発展させること。

・今後の活動について助言をもらうことで、さらに発展していく。

内容：以下の表の通り

回数	日程	内容
１回目	７月 13 日（水） 13：30～17：20	・今後の活動について ・これから始めるにあたって困っていること。
２回目	10 月 19 日（水） 13：30～17：20	・活動進捗状況及び困っていること
３回目	２月１日（水） 13：30～17：20	・これまでの活動発表と来年度にむけて

参加団体：４団体

・がもう夢工房協議会

「がもう夢工房拠点整備事業」

・クミノ工房

「プロジェクト　クミノ」

・ＮＰＯ法人愛のまちエコ倶楽部

「東近江発！新しいせっけんブランドの立ち上げ」

～次世代による“第二次せっけん運動”ビジネス化計画～

・あいとうふくしモール運営委員会

「ほんなら堂事業」

（２）団体個別支援：事業計画の立て方講座

事業計画の立て方についての基礎を１月 18 日に講座で行い、考え方や全国での事例を知り、団体の中で検討できた。そこで今回は、団体それぞれの抱えている事業を丁寧にみてもらい、ヒアリングとアドバイスを通して各団体の事業計画が具体的に立てることができるよう、支援を行う。個別ヒアリング終了後、一堂に会して、お互いに学んだことや、今後の豊富などを交流する会も合せて開催する。

日程：2017 年３月 14 日（火）10：00～18：00

場所：各団体事務所

講師：山元圭太氏（株式会社 PubliCo 代表取締役 COO）

団体数：３件（ＮＰＯ法人里山保全活動団体遊林会、ＮＰＯ法人愛のまちエコ倶楽部、あいとうふくしモール運営委員会

（３）東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業成果発表会

今年度の東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業に採択された４団体の成果発表会である。今年度は、ＳＩＢという仕組みを取り入れたことで、市と採択団体のやりとりだけでなく、多くの人に関わってもらうことができ、採択団体にとっては、応援者やファンを増やし、事業の幅が広がったように感じる。

この成果発表会では、団体の思いや成果を知り、さらにファンを広げる取り組みになった。次年度の事業の継続性のためにも、多くの人と関わり、つながる一つのきっかけとなる場になった。

日時：2017 年３月 30 日（木）16：00～20：00

場所：浜野会館

（４）コミュニティビジネスの事例収集と紹介

東近江市コミュニティビジネススタートアップ事業で採択された事例についての取材及び市民を対象にしたコミュニティビジネスツアーや事業者の成果発表会の公開により、情報収集・紹介を行った。

団体名：政所茶縁の会
奥永源寺地域で栽培されている政所茶を安定して生産し販売するために、法人化、事業化に向けた取り組みを進めている。 政所に拠点を整備され、事務局スタッフや役員が決定した。

団体名：株式会社みんなの奥永源寺
奥永源寺地域を舞台に、木地師の文化を伝えるツアーやムラサキの染め体験などを企画する。2017 年３月に株式会社を設立、ホームページやチラシも作成し本格的に活動していく。

団体名：HONMACHI39
八日市地区地域おこし協力隊として、本町商店街で活動されている。ヴォーリズ建築のアトリエを拠点に、シェアアトリエを開き、現在３店舗出店している。３月に改装し一部カフェスペースが設けられた。

団体名：二丁目植堂
能登川駅前地域おこし協力隊としての活動のなかで、能登川駅前通りに「二丁目植堂」という拠点を作った。現在は、カフェや子ども向けの英語教室、園芸体験などを定期的に開催。2017 年４月からは通勤客をターゲットにしたコーヒーの販売を予定している。また、地元の若手農家と協力したマルシェの開催も検討中とのこと。

５．協働ラウンドテーブルの開催

（1）協働ラウンドテーブルの運営委員会の開催

協働推進委員会より派生し、ラウンドテーブルの仕組み及び、実践・試行を行う委員会である。今年度より、定例会議を行う。

毎月第４火曜日の 19：30～21：30　　10 回開催

（2）東近江市協働ラウンドテーブルの開催

日時：2016 年９月 16 日（金）13：50～15：30

場所：湖東コミュニティセンター別館　会議室

テーマ：「災害時における多言語情報発信について」

参加者：24 名（スタッフ含む）

ラウンドテーブル着席者

〇菊池　盛吾さん（ブラジル出身）

〇東近江市総務部防災危機管理課

〇社会福祉法人東近江市社会福祉協議会

〇学校法人日本ラチーノ学院

〇東近江国際交流協会

〇ＦＭひがしおうみ　ラジオスイート

〇ＮＰＯ法人まちづくりネット東近江

司会：森田　徳治（協働ラウンドテーブル運営委員会）

ファシリテーター：楠神　渉　（協働ラウンドテーブル運営委員会）

小倉　昌和（協働ラウンドテーブル運営委員会）

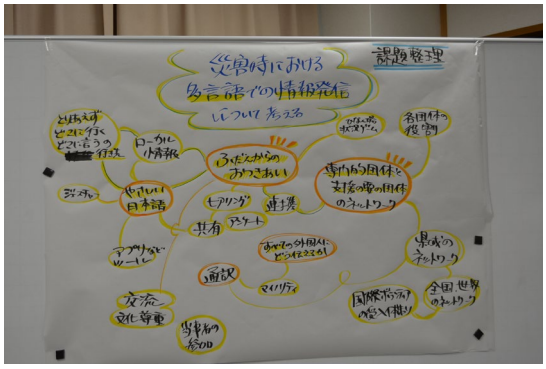
記録：北井　香　（協働ラウンドテーブル運営委員会）

スケジュール

13：30～　司会者によるラウンドテーブルの紹介

13：35～　テーマにそって各着席者からの話とファシリテーターによる質疑

14：55～　バスセッション（参加者が３人程度のグループで話し合い）
15：15～　記録よるふりかえり
15：30～　終了



講座の開催

１．助成金学習会

（１）日時：２０１６年5月１８日　１０：００～１２：００
場所：まちづくりネット東近江事務所
参加者：７名（東近江文学会・地球ハートヴィレッジ・まちづくり協働課）
内容：助成金について説明、その後、個別に東近江市わくわく支援活動補助金に申請するための相談会を行う。参加者は申請を考えている団体なので、団体の事情を考えた個別相談となり、団体への交流も進んだ。

（２）日時：２０１６年１０月１３日１４：００～１６：００
場所：まちづくりネット東近江事務所
参加者：２名（自治会長・地域おこし協力隊）
内容：助成金について説明後、個別相談

（３）日時：２０１７年2月１７日１４：００～１６：００
場所：まちづくりネット東近江事務所
参加者：１名（生涯学習インストラクターの会）
内容：助成金について説明後、個別相談

〈所感〉
自治会長が地域のいろいろな普請や、サロンなどの助成金を探しているが、これまでの行政補助金しか情報がないので、申請手続きも含めて説明が必要と感じた。助成金を出したいと思っているところも多く、次回の相談につながると思われる。

2. 思いを伝えるプレゼンテーション講座

多くの市民に活動やミッションを“共感”してもらうことは重要である。プレゼンテーション時の、内容の組み立て方、視覚の効果、話し方など思いを伝える方法を学び、発信することを目的とする。

日時：2016 年 6 月 17 日（金）13：30～16：30

場所：東近江市役所 314 会議室

参加費：500 円

講師：山元圭太さん（株式会社 PUBLICO　日本ファンドレイジング協会理事）

参加者：22 名

3. はじめての会計講座

初心者からわかる簿記をテーマに学ぶ 1 日講座。午前中は、伝票の書き方や複式簿記を中心に会計の基礎知識について学習する。午後からは、実践編として、午前で学んだ帳簿の書き方、仕訳についての練習問題などに取り組み、実務で活用できる力をつける。

日時：2016 年 7 月 15 日(金)10：00～15：00（受付：9：30～）

場所：五個荘コミュニティセンター大会議室

講師：石井俊行さん（石井会計事務所税理士）

参加者：15 名

〈所感〉

講義と実習を一日かけてじっくり取り組める企画で、参加者の方にも満足していただけた。申込みの数が予想より少なかった。市民活動団体やわくわく補助金の採択団体さんの参加が少ない。広報の方法に工夫が必要と感じた。

4. ファシリテーションスキル UP 講座
～ホワイトボードを使った会議の進め方～

会議をスムーズに進め、内容を参加者と共有し合意に向けて論点を整理する力「ファシリテーションスキル」についてホワイトボードというツールを活用し効率的、効果的に会議を進める方法を学ぶ。

日時：2016 年８月８日（金）９：30～12：00

場所：東近江市役所 314 会議室

参加費：500 円

講師：西川実佐子さん（株式会社ひとまちホワイトボードミーティング認定講師）

参加者：17 名

＜所感＞

ホワイトボードが全グループ確保でき、参加者も積極的にファシリテーターに挑戦できた。各人の会議のチェックシートを事前に実施し、大半が疲れを感じる会議を行っていることがわかり、講座が解決の糸口になるように感じた。

5. 伝えるコツセミナー

団体自身が情報を発信するときに、共感してもらえる広報とは何かについて学び、今後に活かす。

日時：2016 年 10 月５日（水）13：00～17：00

場所：能登川コミュニティセンター

参加費：500 円

講師：鈴木契さん（株式会社電通関西支社マーケティングクリエイティブセンター）

実吉威さん（認定ＮＰＯ法人市民活動センター神戸理事・事務局長/公益財団法人ひょうごコミュニティ財団専務理事）

参加者：30 名

＜所感＞

日本 NPO センター主催の広報セミナーを共催事業として採択され開催できた。アンケートの結果を見ても、とても好評だった。テキストも持ち帰りでき、団体や、自分自信で見直すことができる一つのツールとなったと考える。後半のワークも、積極的に参加されていて、自分の団体を見直すよいきっかけとなったと感じた。

後半のワークは、お互いの団体を知るよい機会となった

６．事業計画の立て方講座

事業計画の立て方を学び、信頼され着実に運営できる団体になるために、講座と事業計画を立てる相談会を連続で行った。実際の事業計画から資金確保までを立案するスキルアップを目指し、実施した。

日時：２０１７年１月１８日（水）１３：３０～１７：００
場所：五個荘コミュニティセンター　研修室３
講師：山元圭太氏（株式会社 PubliCo 代表取締役 COO）
参加人数：16 名

７．聞く力・話す力・伝える力講座

にじまちサポーターズ採択団体「木地師のふるさと高松会」前川真司氏と共催で講座を開催し、参加費をにじまちサポーターズの寄付金とした。
自分の思いを発言・表現するための話力を育てる、実践型の発話メソッドを活用してワーキングを交えて鍛える講座。

日時：2017 年２月 16 日/23 日/3 月２日/9 日　14：30～16：00　全４回
場所：東近江市立八日市図書館/建部コミュニティセンター
参加者：１回８名　２回５名　３回６名　４回２名

８．耕作放棄地を開墾しよう講座

奥永源寺地域の耕作放棄地を開墾して高原野菜・夏野菜の収穫に挑戦するための座学講座。（前川真司氏と共催）

日時：2017 年３月 18 日/25 日　10：00～12：00　全２回
場所：東近江市立永源寺図書館
参加者：１回目８名　２回目 10 名

＜７，８の所感＞

プレゼンの機会が多い前川氏の講座としては初めての開催。運営面では互いに勉強にな

る事が多かった。報知新聞や Facebook での広報で、まちづくりネット東近江にとっても新しく関わってもらえる参加者とつながることが出来た。参加者は今後も継続的な受講を希望され、農業の仕方だけではなく、人間と植物・動物の関わりや文化の形成に農業が影響を与えている事など学ぶことができ非常に好評だった。

９．ひよこサロン

今年度の新規の取組で、これから市民活動をしていきたいと思っている方や、これまでも様々な活動をしてきたが、もっと関わる人を増やしたいと思っている方などが集まり、交流する機会をつくる。その中で、普段の悩みなどを話してもらいながら、まちづくりネット東近江の相談事業へつなげていく。

第１回：日時：６月 22 日（水）
　　場所：まちづくりネット東近江事務所
　　参加人数：２名
第２回：日時：８月 24 日（水）
　　場所：まちづくりネット東近江事務所
　　参加人数：１名
第３回：日時：10 月 26 日（水）
　　場所：まちづくりネット東近江事務所
　　参加人数：２名

＜所感＞

各回参加者は少ないが、自分の思いや何ができるかを語り合うスタイルとなっている。何かしたい、でも何からしたらよいかを確認のために参加されている。今後もつながりを持っていくことを心がけて、市民活動ってどういうものかを知ってもらい、東近江市の市民活動に関わる人を増やしていく。

相　談

１．窓口・電話による相談への対応について

相談者の内容、対応したこと等をまとめ、スタッフ全員で共有し、次に役立つように記録を集計している。今後のまちづくりネット東近江が行う支援のあり方や、期待される役割等を検討するデータとして活用している。

【実績】　総相談件数９２件 、相談総数時間 109.95 時間

拠点ができたことで、これまでまちづくりネットとかかわりのなかった新しい方々も

相談に見えるようになった。NPO 法人設立と解散についての相談が増えた。広報・PR など情報発信に関するものは相変わらず多い。「NPO の活動・事業運営」についての相談も多いので、講座の企画も事業計画作成の講座なども対応した。活動資金の相談等も相変わらず多い。集計分類の項目は事業の柱に合わせ、相談で受けた内容を事業に反映しやすいよう設置している。

相談内容

大分類	小分類	件数
1　設立･解散相談	設立の手続きと流れなど	１０件
2　会計・財務相談	会計・財務の具体的な内容など	８件
3　市民活動相談	組織・事業運営、「協働」に関することなど	１６件
4　情報発信相談	広報・PR、情報発信 など	２２件
5　助成金相談	助成金、活動支援金など	２１件
6　その他	上記分類に当てはまらないもの	１５件
総　計		９２件

主な相談者

相談者の内訳	件数
事業所（個人事業主、企業）	１９件
まちづくり協議会（コミュニティセンターを含む）	２件
社会福祉法人	０件
NPO 法人	２４件
行政	５件
その他の団体	４２件
総　計	９２件

２．各種の相談要請に対するアドバイザーの派遣、専門家の仲介

相談された案件について専門的な支援が必要となった為、専門家及び専門機関へコーディネイトを行った。

（１）専門家との連携

対象団体：こもれ日小田苅家、あいとうふくしモール運営委員会、地球ハートヴィレッジ

連携先：石井会計事務所　石井　俊之さん

内容：団体の会計に関する相談に対し、税理士の先生を招く機会を設けた。帳簿のつけ方など、団体の個別相談に対応していただいた。

（２）アドバイザーの派遣

対象団体：NPO 法人愛のまちエコクラブ、政所茶縁の会

連携先：東近江ケーブルネットワーク株式会社

内容：自団体の活動を PR するための動画を作りたいとのことで、動画編集の方法やビデオカメラの使い方について教えていただいた。

（３）視察先の紹介

対象団体：TABICA

連携先：永源寺茶縁の会、木地師のふるさと高松会、クミノ工房、北浦さん、河辺生き物の森

内容：株式会社ガイアックスからの依頼で着地型観光のワークショップ先を探しているということなので、現地視察も兼ねて紹介する。

３．ボランティア希望者と受け入れ団体のコーディネイト

東近江市社会福祉協議会地域福祉課からのボランティア募集に協力をした。

内容：夏休み期間中、養護学校や特別支援学級に通う子どもたちが、創作活動や遊びを通してたくさんの友達や地域の方々とふれあい、楽しく有意義な時間を過ごすことを支援し、子どもたちの仲間づくり、理解者づくりを目的に実施する事業のボランティアを募集する。

支援内容：まちづくりネット東近江のＨＰ、Facebook、市役所掲示板にてチラシの広報を実施した。

地域循環共生圏構築検討事業

１．環境省より地域循環共生圏構築にむけて「多様なプラットフォームづくり」、「自立のための経済的仕組みづくり」、「人材育成」のテーマで事業を受託。

環境分野での課題は、幅が広く一つの分野では収まりきれないものが多い。だからこそ、多角的な視点から課題に取り組むことができるように意識づける場が必要。その場が「円卓会議」であり、課題を解決に向けて、様々な立場から見えてきた事実をもとに、課題を共有する場が大切だと考える。このような場が各地で行われることが、住民参加型の課題解決につながる。

まちづくりネット東近江は、地域で、自立して、経済を動かしていくためには、まずは自分の団体の現状を知り、組織内で共有することが大切であると考え、コミュニティビジネスを行う団体を対象に数カ年を見通した事業をつくるための研修会を開催するなど、それぞれの団体が、自立できる持続可能な事業を行うことができるように支援することが今後大切になってくる

環境課題を市場原理だけで解決することは出来ないため、環境活動を支える資金調達の仕組み作りを三方良し基金と連携しながら進めていく。

（期間：２０１６年１０月～２０１７年３月）

１．持続可能な取り組み指標として環境基本計画に位置づけられるものの現状を調査し、環境・経済・社会視点からデータ化する。

●環境・経済・社会視点

環境：CO２排出削減量

経済：地域循環額＝地域調達額＋資金流出回避額+その他

社会：地域や自然とかかわる時間＝取り組みを行っている労働者の労働時間＋地域の人が取り組みに参加する時間

２．環境円卓会議の開催

日時：２０１６年2月２７日（月）

場所：能登川コミュニティセンターホール

テーマ：日本遺産に認定された「伊庭の水辺景観」を守り、活用した地域づくりを考える

参加者：８０名

提案者

嶋田直人さん(東近江市歴史文化振興課)

着席者

村田八佐夫さん（伊庭町自治会）

田中信弘さん（伊庭の里湖づくり協議会）

村田恒治郎さん（伊庭庄の歴史を語る会）

井上龍男さん（料理店「魚定」）

百々孝義さん（東近江市観光協会）

大崎康文さん（滋賀県観光政策室）

事業実施体制

１．スタッフ研修

（１）各種研修への参加

中間支援組織として、日々の業務に多様なスキルが必要になる。そのためにさまざまな講座に参加し、スキルの向上を図る。

【参加９回】

2016 年７月７日	日本 NPO センター初任者研修会
2016 年 11 月 22 日	日本 NPO センター20 周年記念式典
2016 年 11 月 23 日	日本セクター会議
2016 年 12 月 15・16 日	沖縄円卓会議視察研修
2017 年２月2日	信頼される NPO はいくつあるのか？
２月 15 日	ソーシャルインパクトボンド自治体職員向けセミナー
2017 年２月 24 日	選ぶべき法人格は何か？非営利法人格の選択と制度を考えるフォーラム in 大阪

2017 年２月 28 日	地方創生と環境金融に関する意見交換会
2017 年３月 20 日	コレクティブインパクトの実践とは

（2）ＮＰＯ若人エンパワープロジェクトでの講座

しが NPO センター主催のＮＰＯ若人エンパワープロジェクトでの講座に１名参加し、座学から事業計画･実践までを学んでいる。

（プロジェクトは 2017 年度も継続 2016 年7月2日～２０１７年2月１３日）

７月2日	ＮＰＯの思いから実践へ
７月 26 日	ＮＰＯの基本
８月９日	ＮＰＯの会計・税務
８月２６日	ビジョンと事業づくり
９月７日	ＮＰＯの労務
９月２４日	ボランティアマネジメント
１０月５日	伝えるコツセミナー
１０月１９日	うまれる・つながる・ひろがる～事業の展開
１１月１０日	ファンドレイジング
１１月２１日	会議の運営ノウハウWBM
１２月６日	ＩＣＴの活用と情報共有
１２月 21 日	構想力と活動曼荼羅図の描き方
１月１６日	ＮＰＯとしての事業化
１月１３日	ＮＰＯのリーダーシップ
２月１３日	課題分析法

（3）ラウンドテーブル運営委員会主催のスキルアップ講座

地域の困りごとを解決するための話し合いの場となるラウンドテーブルの運営に必要な技術や基本的な会議の進行方法、いろんな考えの人たちの集まる中でいかに合意形成を図るかなどのコツを知り、実践に活かせるようお互いに学びあう。

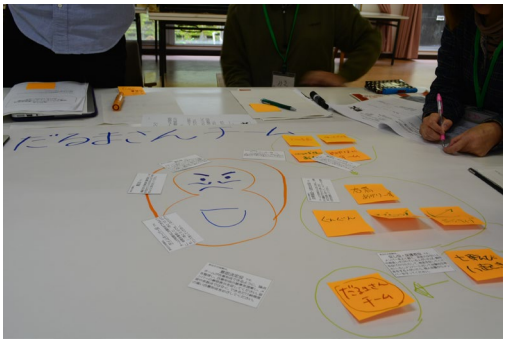
・ファシリテーターのあり方を学ぶ
・ラウンドテーブル運営委員会の皆がファシリテーターとして活躍できる体制づくり

日時：2016 年 10 月 26 日（水）、27 日（木）
場所：やまのこの家
参加人数：18 人
講師：服部　正志（ＬＬＣチーム経営）
※会議ファシリテーション実習テーマ
「誰もがまちのわ会議に参加できるようにするには」

＜所感＞

今回参加者は、ラウンドテーブル運営委員会のメンバーが多く、スキルを向上するという意識を持て、様々な内容を勉強することができた。

協働ラウンドテーブルついても、今後の運営方針について話をすることもでき、今後の活動の基礎を検討することができ、これからの道筋を検討する材料を見つけられたのは大きな成果だと思う。今後、運営委員会で、今回検討されたことを振り返りながら、今後の運営について考えていけたらと思う。



（4）市民活動を促進するフォーラムやイベントの開催に向けた調査・検討企画

市民活動促進のためのイベントやフォーラムに参加し、今後の企画などの検討のための調査の位置づけとし、調査シートに記入して共有した。

参加件数 29 件（前年比 120%）

2．まちづくりに関わる多様な主体間の連携･ネットワークの構築

滋賀県内の中間支援センターで働く職員間の研修や情報交換の場として行われている。まちづくりネット東近江は、東近江市を拠点に活動している中間支援組織として参加した。

（1）市民活動支援センター意見交換会

県内の市民活動支援をしている県域や市域の団体の交流と研修を兼ねて開催している。

① 第 1 回市民活動支援センター意見交換会

日時：2016 年 6 月 10 日（金）14：00～16：50

会場：ピアザ淡海　滋賀県立県民交流センター　201 会議室

内容：今年度の市民活動支援センター意見交換会の体制について、各施設の情報交換

［研修］市民活動センターの５つの機能について　講師：仲野　優子さん

② 第 2 回市民活動支援センター意見交換会

日時：2016 年 8 月 29 日（金）13：30～16：00

会場：長浜市役所　ながはま市民活動センター　３階　3-B コミュニティルーム

内容：事例発表・グループワーク

市民活動センターの地縁組織支援事例発表（高島・東近江・草津・甲賀・長浜）

グループワーク「地域支援組織支援について必要な機能とは？」

③ 第 3 回市民活動支援センター意見交換会

日時：2016 年 12 月 15 日（木）13：30～16：30

会場：草津市立まちづくりセンター　302 会議室

内容：［講座］ホワイトボード・ミーティング　ベーシックセミナー

講師：西川　実佐子さん

3．運営体制

（1）総会の開催

日時：2016 年5月２3日　19：00～20：00

場所：まちづくりネット東近江事務所

＜議事＞

第１号議案　2015 年度事業報告（案）について
第２号議案　2015 年度活動決算報告（案）について
第３号議案　役員選任の件について
第４号議案　　定款の変更の件について
＜報告＞
2016 年度活動計画について
2016 年度活動予算について

（2）運営委員会の開催
年６回の運営委員会を開催し、組織運営に関する協議を行った。

開催日時	協議内容	出席者数
第１回 2016 年５月 12 日（木） 19：00～21：00	事業計画 にじまちサポーターズ 昨年度事業報告 昨年度決算報告 役員と定款の変更	１０名 （内事務局３名）
第２回 2016 年６月 16 日（木） 18：30～19：00	今年度事業計画 代表・副代表の選出	12 名 （内事務局４名）
第３回 2016 年９月８日（木） 19：00～21：00	事業報告 今後の予定 第一四半期決算報告	８名（内事務局４名）
第４回 2017 年１月 19 日（木） 19：00～21：00	事業報告 第二四半期決算報告 補正予算 次年度事業の検討	11 名（内事務局４名）
第５回 2017 年３月 22 日（木） 19：00～21：00	事業報告 第三四半期決算報告 2017 年度事業計画（案） 2017 年度予算	14 名（内事務局４名）

３）学習会の開催
まちづくりネット東近江が取り組んでいる事業や今後取り組んでいく事業の内容、仕組みを運営委員と共有する学習会を設け、今後の事業や地域の展開を共有した。
日時：2016 年 10 月１３日（木）19：00～21：00
場所：まちづくりネット東近江事務所
講師：深尾　昌峰氏（龍谷大学政策学部准教授/京都地域創造基金代表）
講演内容：「東近江をローカルファイナンスの先進地に
～持続可能な地域社会の実現へ～」
・三方よし基金について
・東近江版 SIB について

４）事務局会議の開催

事務局会議はまちづくりネット東近江の事務局と代表・副代表、東近江市役所まちづくり協働課担当者が事業の内容や業務の進捗状況の情報共有と運営上の問題点等を協議するものである。2016 年度は６回事務局会議を開催し、協議を行った。